

RE: 「推薦委員会」開催不許可のお知らせ2012年10月26日 金曜日 午後12:09
From: "yappieyy@yahoo.co.jp" <yappieyy@yahoo.co.jp>
To: "吉井 康雄(yasuoyoshii)" <yasuoyoshii@osaka-ue.ac.jp>, "井形 浩治(igata)" <igata@osaka-ue.ac.jp>Cc: "池島 真策(ikeshima)" <ikeshima@osaka-ue.ac.jp>, "吉野 忠男(tyoshino)" <tyoshino@osaka-ue.ac.jp>

井形学部長殿

いつもお世話になっております。

6つの項目とその述べられた理由が、一方的な解釈とご説明ではなかったか、と判断しております。

それらが第三者からみて適正とみなされるだろうか、と危惧しております。

私には現在もなお、とうてい適切なご説明ではなかったとみております。

なお、お返事いただいたこのメールの内容は精読するようにします。

吉井康雄

— On Sun, 2012/10/21, 井形 浩治(igata) <igata@osaka-ue.ac.jp> wrote:

吉井先生へ

申し訳ございません、先生からいただいた本メールの質問内容が分かりかねます。

先日の教授会において、過日の吉井先生と私のやり取り(於:吉井研究室)について、複数名の先生からその内容について問われる質問がございました。

私は、吉井先生のみに申し上げましたので、それらの内容は吉井先生から他の先生に伝えられたものと察しますが、そのような理解でよろしいでしょうか。

それは、さておき、私の当日の「説明にあまりにも間違いが多く」とは、何を捉えられていらっしゃるのでしょうか。

過日、先生の研究室において時間をかけ同一内容を複数回、念入りにお知らせいたしましたつもりです。

その時点でおっしゃっていただいた方が、説明した私も、異議・反論を出される吉井先生も両者とも正確にその論点を明らかにできたと考えます。

また、先の教授会においてもなぜおっしゃられなかったのでしょうか。

このようなメールを、私と我々執行部にだけ出されるのは、我々以外の先生に聞かれては何か吉井先生や先生に近い方々にとって問題でもあるのでしょうか。私の「説明の(あまりもの)間違い」点は、恐らく1・2点でなく、「多く」と理解されます。

なおさら、「公的な場=教授会」にてご指摘いただくべきでしょう。

「このような決定は不当」の意味も理解しかねます。

①「規定によって下される決定そのものが不当」なのでしょうか。

それならば、「規定改正」の提議を速やかに出されないと、本年度中には改正が実現することが困難と思われれます。

もともと、私は現在のところ「規定によって下される決定そのものが不当」には、理解できません。

②「決定に至るまでの私の運営・判断が不当」なのでしょうか。それならば前の16日に先生に出した私の文書を再度、一読願います。

やはり、「決定に至るまでの私の運営・判断が不当」とは考えられません。

よって、上記の点からも、何を「訂正」すべきか、理解できません。

それと、教授会において私の思考が「ブア」と吉井先生から発言もございました。

ここでの「ブア」は、イコール「ばか・思考が貧しい」と理解してよろしいでしょうか。

今回のメールも、「ブア」な井形に対して、当然「リッチ」な吉井先生の観点・思考は正当正論であるとの前提で送られたものと理解します。

教授会は、本来は「学問研究の場としての自由な発言」が保たれるべきでしょうし、私の後任の学部長・執行部にも、それを是非とも踏襲いただきたいと願います。

しかし、職位・年齢が下の教員に対してのみならず、全ての教員が相互に「尊重・敬服」の精神と態度は、やはり常識として求められます。

学外者はともかく、少なくとも、学生・OBは、「そのような教授会」であって欲しいと願っているようにも、私には感じます。

「ばかと云われて」名誉棄損の訴訟提起は、私はいたしません。やや、今回のようなメール送付は大変我々を苦しめます。

我々執行部には、先生以外からの学部内外の教員・職員、大学関連の外部者から毎日、多くのメールを頂戴します。

それらに対して多くの時間を費やし、可能な限り、失礼が無いように返信いたします。ただし、その作業は大変ストレスを強く感じる業務です。

何卒ご理解下さいませ。

井形浩治

RE: 「推薦委員会」開催不許可のお知らせ2012年10月26日 金曜日 午後10:40
 From: "yappieyy@yahoo.co.jp" <yappieyy@yahoo.co.jp>
 To: "吉井 康雄(yasuoyoshii)" <yasuoyoshii@osaka-ue.ac.jp>, "井形 浩治(igata)" <igata@osaka-ue.ac.jp>; Cc: "池島 真策(ikeshima)" <ikeshima@osaka-ue.ac.jp>, "吉野 忠男(tyoshino)" <tyoshino@osaka-ue.ac.jp>

井形先生

多くの情報を処理されて、本当にご苦勞様です。

学部長はやはり2年を限度に先生方にもっていただくのが学部運営を進めていくのによろしいのでは、と思いますね。

メールを読む時間ができましたので、このメールでご指摘のところを、私の立場から一部ですが返答させていただきます。

1) 申し訳ございません、先生からいただいた本メールの質問内容が分かりかねます。

⇒ 特任教員の辞退をおすすめにみえましたが、その6項目のご指摘が正確とはいえないことです。一方、私の提出書類のミスは、演習1を二部開講科目とする記入ミスのみであり、協議を前提としていますから、その場で修正すれば、済む内容です。

⇒ 私もビックリしましたが、お話をこられた翌日、学長には、私の書類不備を理由に、推薦委員会には、学部ではあげないとの、学部長のメールを私宛に送付されていましたが、どのような意図で、そのような動きをされたのか、不審に思っています。

2) 先日の教授会において、過日の吉井先生と私のやり取り(於:吉井研究室)について、複数名の先生からその内容について問われる質問がございました。

私は、吉井先生のみに申し上げましたので、それらの内容は吉井先生から他の先生に伝えられたものと察しますが、そのような理解でよろしいでしょうか。

⇒ 学部内のこと、採用人事など、多くのことを教員メンバーが情報共有して、はじめて全員参加ができるのではないのでしょうか。

私の特任教員申請は、私たち学部教員の共通の関心事であり、本来、情報共有すべき内容と理解しますが、不都合があるのでしょうか。また、不具合と感ぜられる状態では、相談することも重要であり、当然の行為だと思います。

禁止事項であれば、その根拠を示してくださいれば嬉しいですが。

⇒ 情報流通が、国家を革命する時代です。公明正大に情報共有すれば、学部発展に寄与するのではないのでしょうか。

つまり、特定のかたがマネジメントしているのではない、という姿勢が学部教授会にも求められるのではないのでしょうか。

⇒ 3年のゼミ生から、生協で食事に行った時に話しかけられ、「先生、来年はおられないのですか」と言われました。

どなたが情報を流されたのでしょうか、あなたの質問と同じように、既に、私に関する情報が流されているということです。

3) それは、さておき、私の当日の「説明にあまりにも間違いが多く」とは、何を捉えられていらっしゃるのでしょうか。

⇒ 辞退を要請する6項目を、読みあげられましたが、それを私に提出してくださいといっておりますが、拒否される理由の1つに、私があなたに問いかける「間違い」があるからでしょうか。そのような意味からもご提示いただければと思います。

4) 過日、先生の研究室において時間をかけ同一内容を複数回、念入りに申し上げたつもりです。

その時点でおっしゃっていただいた方が、説明した私も、異議・反論を出される吉井先生も両者とも正確にその論点を明らかにできたと考えます。また、先の教授会において時間もなげおっしゃられなかったのでしょうか。

⇒ 先生の丁寧なご説明はしっかり記憶しておりますし、私もその折、意見させていただきました。正確に論点を明らかにできたと主張されますが、繰返し、辞退せよ、で、その論理に矛盾はなかったのでしょうか。

5) このようなメールを、私と我々執行部にだけ出されるのは、我々以外の先生に聞かれては何か吉井先生や先生に近い方々にとって問題でもあるのでしょうか。

⇒ 学部長への返信が、CCの執行部の先生方に自動送信されているのみです。執行部で情報共有されているわけですから、この件は学部長にとって問題はないのではないのでしょうか。

⇒ 「吉井先生や先生に近い方々にとって問題でもあるのでしょうか」、このご質問の意図は全くわかりません。私は公明正大に行動していますので、隠すべき情報はありません。なお、メールを出すという行為については、当然、あなた方の判断する根拠などに不備があると感じているから、お知らせして、修正していただく、という当然の行為と理解しています。

6) 私の「説明の(あまりもの)間違い」点は、恐らく1・2点でなく、「多く」と理解されます。なおさら、「公的な場＝教授会」にてご指摘いただくべきでしょう。

⇒ 学部長自ら、「多く」と理解される内容で、私の特任教員の手続きをすすめないということは適切な手続きでしょうか。

⇒ 議論の場が必要だと思います。松下幸之助氏は「ガラスばり経営」といっています。ガラスばりにすれば、問題も氷解するのではと思います。

7) 「このような決定は不当」の意味も理解しかねます。

① 「規定によって下される決定そのものが不当」なのでしょうか。

それならば、「規定改正」の提議を速やかに出されないと、本年度中には改正が実現することが困難と思われます。

もっとも、私は現在のところ「規定によって下される決定そのものが不当」には、了解できません。

⇒ この主旨がわからないため、返答しかねます。ご容赦ください。

8) ② 「決定に至るまでの私の運営・判断が不当」なのでしょうか。それならば前の16日に先生に出した私の文書を再度、一読願います。

やはり、「決定に至るまでの私の運営・判断が不当」とは考えられません。

よって、上記の点からも、何を「訂正」すべきか、理解できません。

⇒ この文意もわかりません。15日にお見えになったときの、あなたの説明資料を提示すれば、問題解決すると思います。

9) それと、教授会において私の思考が「プア」と吉井先生から発言もございました。

ここで「プア」は、イコール「ばか・思考が貧しい」と理解してよろしいでしょうか。

⇒ 英語は、多義語であるご存知だと思います。poorには、「不十分な」という意味があります。検討する必要性を呼びかけている訳です。あなたは、別の観点から poor を意味解釈されていると思いますので、議論を戦わせることができないように思います。

- 10) 今回のメールも、「ブア」な井形に対して、当然「リッチ」な吉井先生の観点・思考は正当正論であるとの前提で送られたものと理解します。
⇒ 9)の延長戦と理解しますので、切磋琢磨する吉井であり、井形先生であればよいのではないのでしょうか？
- 11) 教授会は、本来は「学問研究の場としての自由な発言」が保たれるべきでしょうし、私の後任の学部長・執行部にも、それを是非とも踏襲いただきたいと願います。
しかし、職位・年齢が下の教員に対してのみならず、全ての教員が相互に「尊重・敬服」の精神と態度は、やはり常識として求められます。学外者はともかく、少なくとも、学生・OBは、「そのような教授会」であって欲しいと願っているようにも、私には感じます。
⇒ 経営学部のビジョンを議論し、そのアプローチを議論する場、そのような教授会に変えていく必要があるのではないのでしょうか。
⇒ 現在の教授会は、経営学部を維持管理する教授会、手続きをする教授会のように思いますが。
- 12) 「ばか」と云われて」名譽棄損の訴訟提起は、私はいたしません、やや、今回のようなメール送付は大変我々を苦しめます。
⇒ わたしは、「ばか」とは言っておりません。話のやりとりで、ふつうに使われる「そんな馬鹿なことを言っていると笑われるよ」と言ったような形で使われるケースはありますが、それゆえ、これも返答しかねます。
- 13) 我々執行部には、先生以外からの学部内外の教員・職員、大学関連の外部者から毎日、多くのメールを頂戴します。それらに対して多くの時間を費やし、可能な限り、失礼が無いように返信いたします。ただし、その作業は大変ストレスを強く感じる業務です。
⇒ これについては、大変ご苦勞なことと思います。ご自身の研究者・教育者としてのビジョンのもとで、学部長としての任期期間をお定めになり、その期間、貢献されて、次の方にバトンタッチをされては如何でしょうか。
⇒ 他学部の学部長の決め方も参考にされ、調和のとれた経営学部になるとうれしく思います。

以上、気付くところを記載しました。

なお、特任教員の手続きは、不自然とっております。

私に続く先生がたのためにも、執行部の皆様、北村カリキュラム委員には不自然さを訴えていきたく思っております。

どうぞ、よろしくご理解のほど、お願い申し上げます。

吉井康雄

RE: 「推薦委員会」開催不許可のお知らせ2012年10月27日 土曜日 午後3:12

From: "井形 浩治(igata)" <igata@osaka-ue.ac.jp>

To: "yappieyy@yahoo.co.jp" <yappieyy@yahoo.co.jp>, "吉井 康雄(yasuoyoshii)" <yasuoyoshii@osaka-ue.ac.jp>Cc: "池島 真策(ikeshima)" <ikeshima@osaka-ue.ac.jp>, "吉野 忠男(tyoshino)" <tyoshino@osaka-ue.ac.jp>

吉井先生へ

前回までの私のメール再度、お読みいただきたいと思います。

ご返答の一部ですが、再回答致します。

1)・・・「記入ミスのみであり、協議を前提としていますから、その場で修正すれば、済む内容」・・・

→ と、いうほど簡単・ささいな理由説明でなかったはずです。よく思い起こしてください。

・・・「どのような意図で、そのような動きをされたのか」・・・

→ やはり、これまでの私からのメール文再読ください。「意図」でなく「規定運用」の手続きによります。

2)→「情報共有」等の先生のご発言、特に異論ございません。

・・・「3年のゼミ生から、・・・「先生、来年はおられないのですね」」・・・

→ 先生、これは事実ですね。もし、それが事実なら仮に先生の「特任教員候補」として対応してきた経緯の全部もしくは一部が、我々教職員の一部から「外部者である学生」に漏れ出た可能性があります。加えて、その情報も正確でない可能性もあるようです。その学生の学番・氏名を是非お教えいただけませんか。私から、直接、学生本人に会い、質してみます。よろしく願います。場合によっては、教授会等でもそれが事実であれば報告する必要もあるかと存じます。

3)→「間違い」がどの箇所であったのでしょうか。私は、「間違っている」理由から、私は先生に文書を渡さないと申しているのではございません。前回までのメール文お読みいただけますか。

それと、私は、ゆっくり読み上げたのを先生は筆記されていたんじゃないでしょうか。

なぜ、筆記された内容の「間違い点」を提示いただけないのでしょうか。

4)→「繰返し、辞退せよ」という、命令・高圧的な論調ではなかったと私は存じます。「ご辞退をお願いしたい」とは申しました。

ただ、先生は辞退しないとおっしゃられました。

先生は、「不協議の文書」で、このまま「推薦委員会」に提出し、同会で協議しろ、とおっしゃられました。

私は、努力して試みますが、先生の期待に添うことは困難であると申しました。

結果は、学長から「不協議の文書」で推薦委員会は開催できないという回答を得た訳です。

矛盾ございますでしょうか。

5)→ 他の先生への情報開示は問題ないでしょうね。前の学生とは異なりますので。ただし、「不備」の「修正」は理解できません。

6)・・・「松下幸之助氏は『ガラスばり経営』」・・・

→ やや、このような比喩は分かりにくい説明ですね。また6そのものの趣旨が私には分かりかねます。

7・8)→ 返答の必要はないかと思われまます。

9)・・・「英語は、多義語である」・・・「別の観点から poor を意味解釈されている」・・・

→ 知る知らないに関わらず関係ないです。「別の観点」もしてません。

吉井先生は、「ブアな発想」とおっしゃられたはずで、「議論を戦わせることができない」ではなく、されない方がよろしいですよ。

比喩的には、「足を踏んだ者」と「足を踏まれた者」とが同格に議論できませんね。

喧嘩両成敗といえども、基本的に先に殴ったものが悪いのでは？

10)・・・「切磋琢磨する吉井であり、井形先生であればよいのではないのでしょうか」・・・

→ 良いとは思いません。理由は前の9にあります。

11)→ 現行の教授会に関するご提言として受け取らせていただきます。

12)→ やはり、前の9お読みください。

13)→ 現行の教授会に関するご提言として受け取らせていただきます。次期執行部にも紹介します。

最後ですか、・・・

「なお、特任教員の手続きは、不自然とっております。

私に続く先生がたのためにも、執行部の皆様、北村カリキュラム委員には不自然さを訴えていきたく思っております。」

私や執行部は、「不自然でない」と確信します。

また、仮にそれが「不自然」であったとしても、規定に反して、「恣意的・強要的」運営はできないと確信します。

井形浩治

Re: おうかがい2012年11月18日 日曜日 午前11:06
From: "yappieyy@yahoo.co.jp" <yappieyy@yahoo.co.jp>
To: "吉井 康雄(yasuoyoshii)" <yasuoyoshii@osaka-ue.ac.jp>, "池島 真策(ikeshima)" <ikeshima@osaka-ue.ac.jp>Cc: "井形 浩治(igata)" <igata@osaka-ue.ac.jp>, "吉野 忠男(tyoshino)" <tyoshino@osaka-ue.ac.jp>, "池島 真策(ikeshima)" <ikeshima@osaka-ue.ac.jp>

池島カリキュラム委員長どの

あなた方執行部および北村カリキュラム委員は、北村さんが作った巧妙な制度の隙間をつかって特任を拒否し、教授会で議論することなく、学部長の一存で決めるということをし、学生の立場は全く考慮されていない進め方をしている訳ですから、講義の初めにゼミ生に説明にきてください。

来週3年生のゼミがあります。再来週には2年生のゼミがあります。

同様に、私の担当科目は学部にとって不要であると説明され、来年は不開講と明言されていますので、来週の情報NW論Ⅱ、再来週の情報VEにも講義の初めに不要という根拠を説明に来てください。

お待ちしております。

これは、あなたがた執行部としての学生へのけじめと思います。

よろしく申し上げます。

吉井康雄

— On Sun, 2012/11/18, 池島 真策(ikeshima) <ikeshima@osaka-ue.ac.jp> wrote:

吉井先生

(cc:井形先生、吉野先生)

いつもお世話になっております。

ところで、次年度以降のゼミ(現在の)2年生・3年生)について、メールをさせていただきます。

もし非常勤としてご担当いただく場合には、非常勤講師用(KVCにありますが)の履歴書・業績書を提出いただく必要があります。

執行部(・カリキュラム委員長)としましては、22日(木)の連絡協議会に間に合わせたいと考えております。

まずは、吉井先生の御意思をお聞かせいただけないでしょうか。

なお、お忙しいなか大変急で申し訳ありませんが、履歴書・業績書は21日(水)までに池島のメールポストに投函していただければ、事務局の方に提出させていただきます。

ご検討のほど宜しくお願い申し上げます。

————— ☆° *。+° ☆° *。+° ☆° *。+° ☆° *。+° ☆ —————

☆ 大阪経済大学・経営学部ビジネス法学科

☆ 池島 真策

☆ ikeshima@osaka-ue.ac.jp <mailto:ikeshima@osaka-ue.ac.jp>

Re: おうかがい2012年11月20日 火曜日 午前9:37
From: "yappieyy@yahoo.co.jp" <yappieyy@yahoo.co.jp>
To: "吉井 康雄(yasuoyoshii)" <yasuoyoshii@osaka-ue.ac.jp>, "池島 真策(ikeshima)" <ikeshima@osaka-ue.ac.jp>Cc: "井形 浩治(igata)" <igata@osaka-ue.ac.jp>, "吉野 忠男(tyoshino)" <tyoshino@osaka-ue.ac.jp>, "池島 真策(ikeshima)" <ikeshima@osaka-ue.ac.jp>

池島先生、執行部の皆様

今回の特任を退けるという決定に導いた件は、北村先生およびあなた方執行部のもとで、少なくとも私が国内留学の頃から練り上げて進められてきたものと、あなた方の発言と行動から理解されます。したがって、1個人としては、反論できない進め方で、これが経営を教える立場にいる最高学府の方がされる行為かと疑うばかりです。

井形先生の説明の根拠の殆んど全てが全く事実と異なる内容であり、学生に教育するという誠意が全くみられない論理の展開で、それをカリキュラム委員会の総意とすることは、北村先生・池島先生を除く他のカリキュラム委員にご迷惑をかける行為とされていると理解されます。

また、今回の進め方は、私が北村・二宮・樋口という方々から様々な圧力を2003年以降、受けてきましたが、そのやり方と極めて似ています。

その1つは、カリキュラム委員会という組織を使って、個人の名前は表に出さない、すなわち、井形先生のみ立場上名前が出ざるをえないけれども、北村先生はじめ執行部個人への追求の矛先をむけさせない、責任逃れが少なくとも可能というやり方で、過去、人権委員会で青水先生、樋口先生に名誉毀損で訴えられましたが、矢面に立つ人、背後にいる人との関係、役割は、推測でしか判断できませんが、極めてよく似ています。

教授会運営するということは、「学部のあるべき姿を描き、それを我々教員および職員の力を結集して、学生および大学、社会への魅力作りをする」ということ、これは私の行動規範であって、あなた方はどのような行動規範をお持ちかは知るよしもありませんが、私の行動規範からすると、運営責任を全く放棄した進め方と理解されます。

今1つは、追及する言質の取り方、とらせ方です。16日の教授会での北村先生の私への追及のシーンをみればわかるでしょう。前後の文脈をみれば容易に理解しうる事柄でも、感情を逆立てるなど、一言、自分の都合のよい発言をさせれば、それをよし、として井形学部長に、議事を進めろと発言していたのを覚えていますか。

「書類上の不備」を理由に推薦委員会に推薦しないという了解を学長にとりつけていますが、これも同じ類です。これは、私の記入ミスといった不備と理解していたのですが、驚くべきことに学部長が推薦委員会に提出すべき資料が整わないという不十分であると北村先生が発言していました。推薦委員会には学部長が作成する資料は規程上、全くないにもかかわらずです。つまり、その場で、決定されれば、その決定の事実だけが一人歩きできるのである、という行動規範の表れであり、あなた方執行部も同じ事をされている訳です。

さらに重要なことは、10月19日の池島カリキュラム委員長が発言です。「経営学科では来年度のカリキュラムに大きな変更はない」と報告されましたが、これも私の特任拒否理由の1つとしてカリキュラム委員長がとりまとめた項目との間に大きな矛盾があります。高度情報化社会といわれる現在において情報のもつ機能の重要性を無視して、経営情報学部が改組したように経営情報論など私の担当の情報科目は不必要とされ、来年度は不開講とされていますが、これは、学生を無視した教育の提供の仕方であり、「カリキュラムに大きな変更がない」ということに当るでしょうか。否です。逆に言えば、私の特任を外すという決定がなされたら、当然、その時点で科目の必要性を論議し、必要と判断して採用人事、非常勤をたてる、結果として、「カリキュラムに大きな変更がない」ということにする作戦のように理解されます。これは、2003年に私が実際に経験した北村・樋口執行部のやり方と極めて似ています。

いずれにしろ、時間をかけて、絶対に特任は認めないという意思を強固にされており、「経営学部教授会決議方法について」の北村提案も、通常必要性という観点からみて、恥ずかしい規程を少なくとも今年度は適用するとされている訳ですから、強い執念を感じざるをえません。困ったことに適用対象は私ではないと主張できる規程ですから、始末におえない、VEという機能保証という概念が全くない規程作成になっているのですから。

結論、以上のことから、ゼミ生には少なくとも、私の特任を認めないという理由の正当性について説明され、今後のゼミ生への対応を学部執行部としてはどのように考えているかを説明するために、お見えになるべきであり、それがゼミ生への礼儀であると思います。そのうえで、しっかり検討して、正式に私の意向をお伝えすることにします。

丁度、1週間はありますから、来週の月曜日のゼミ、木曜日のゼミにはどなたかお越しください、説明と意見交換をしましょう。よろしくお願ひします。

吉井康雄

Re: おうかがい(再度確認)2012年11月28日 水曜日 午後5:23
From: "yappieyy@yahoo.co.jp" <yappieyy@yahoo.co.jp> To: "池島 真策(ikeshima)" <ikeshima@osaka-ue.ac.jp>Cc: "井形 浩治(igata)" <igata@osaka-ue.ac.jp>, "吉野 忠男(tyoshino)" <tyoshino@osaka-ue.ac.jp>

井形学部長および執行部の先生方へ

今回の特任の進め方はその原因とするところも不適切であり、私に続く先生方のためにも、目下、人権委員会に訴えているところです。その結果を私は待ちたいと思います。

なお、ゼミ生諸君はどうしたら私の特任が認められるのか、自分たちのゼミも継続して指導していただけるのか、と言っています。署名活動をしようかとも言っています。非常勤でゼミ継続の道もありますが、今回のように不必要と言われた状態でゼミに来る教員はいないと思うと私は学生には説明しています。学生の立場にたち、適切な制度の運用を期待したいものです。

この件については、以上が私の回答です。

吉井康雄

— On Sun, 2012/11/25, 池島 真策(ikeshima) <ikeshima@osaka-ue.ac.jp> wrote:

吉井先生

先日、次年度以降のゼミ((現在の)2年生・3年生)について、以下のようなメールをさせていただきましたが、11月22日の連絡協議会に向けた履歴書・業績書をおだしになれませんでした。

再度ご確認いたしますが、次年度以降のゼミ((現在の)2年生・3年生)の非常勤につき、ご担当の意思はありますでしょうか。経営学部としても、次年度以降の体制をかためなければなりません。

吉井先生の御意思をお聞かせ下さい。

履歴書・業績書をお出しにならない場合は、次年度以降のゼミはご担当しないという意味だとして、すすめさせていただきますので宜しくお願い申し上げます。

履歴書・業績書は、28日(水)までに池島のメールポストに投函していただければ幸いです。

宜しくお願い申し上げます。

—————☆° *。+° ☆° *。+° ☆° *。+° ☆° *。+° ☆—————

☆

☆ 大阪経済大学・経営学部ビジネス法学科

☆ 池島 真策

☆ ikeshima@osaka-ue.ac.jp <mailto:ikeshima@osaka-ue.ac.jp>

—————>☆° *。+° ☆° *。+° ☆° *。+° ☆° *。+° ☆—————☆—————